

要 約

- (1) 海草の生育密度の季節的変化を調べるために、定点に方形枠を3ヶ所設置し、毎月枠内のリュウキュウアマモとリュウキュウスガモの株数を計測した。リュウキュウアマモは5月にもっとも繁茂し、その後は減少した。また、リュウキュウスガモは夏期にもっとも繁茂した。
- (2) 1983年7月11日と12月14日に底生生物の調査をおこなった。個体数では線虫類と多毛類が多く出現し、夏季に比べて冬季の出現数が多かった。
- (3) 1983年6月21日から27日にかけて樹網漁獲試験をおこなった。6日間の取り上げで合計42種類、137個体、約63.33kgの漁獲があった。そして、ボラ、ゴマアイゴ、およびアオリイカを多く漁獲した。
- (4) 1983年5月19日から10月17日にかけて幼稚魚調査を実施した。期間中の漁獲物の合計は約61種類、4356個体であった。そして、イソエフキ、ルリスズメ、ハラスジベラ、およびアイゴ類などを多く漁獲した。
- (5) 1983年8月8日に人工礁調査をおこない魚の媚集状況を観察し、約17種、110個体が見られた。
- (6) 1983年7月30日、10月27日、および1984年1月23日に水質調査をおこなった。結果は前年度とほぼ同様であった。

参考文献

日本気象協会 1981. 海洋観測指針 429 pp.

日本水産資源保護協会 1980. 新編 水質汚濁調査指針 552 pp.

沖縄県水産試験場八重山支場 1978. 昭和52年度名蔵湾保護水面調査報告 17 pp.

_____ 1979. 昭和53年度名蔵湾保護水面調査報告 26 pp.

_____ 1980. 昭和54年度名蔵湾保護水面調査報告 22 pp.

_____ 1981. 昭和55年度名蔵湾保護水面調査報告 21 pp.

_____ 1982. 昭和56年度名蔵湾保護水面調査報告 16 pp.

_____ 1983. 昭和57年度保護水面管理事業調査報告書 51 pp.

東海大学海洋学部 1980. 魚類図鑑 379 pp.

発表の要約は、発表の要約として掲載される。この要約は、発表の要約として掲載される。この要約は、発表の要約として掲載される。